

平成26年度文部科学省指定 スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

2015 SGH通信

【1年生配布用】

No4 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

来週5月8日(金)に国際連合地域開発センター所長 高瀬 千賀子さんをお招きして、国際開発機関で「持続可能な社会の実現」に向けて活動されている視点からお話していただきます。

◆ 国連地域開発センター（United Nations Centre for Regional Development）について



● 設立 UNCRD は国連と日本政府との協定により 1971 年に名古屋に設立されました。中部地域では、唯一の国連機関であり、また名古屋に本部をおく唯一の事業遂行を目的とした機関です。

● 目的 UNCRD の活動目的は、以下の4点です。

- ① 研修 開発途上国の行政官を対象に、地域開発¹に関する研修を行う。
- ② 調査研究 地域開発をめぐる諸問題をテーマに、上記研修用の教材開発をも兼ねた調査研究を行う。
- ③ 助言 地域開発に携わる政府機関、NGO²、大学等の要請に基づき各種助言を行う。
- ④ 情報ネットワークの確立 地域開発に関する出版物を発行するなど情報交流のネットワークを確立する。

上記の活動目標は UNCRD 設立以来変わっていませんが、開発途上国や移行経済地域の複雑な地域開発問題に的確に取り組めるよう、時代と共にその事業プログラムを見直してきました。現在では「持続可能な地域開発」から更に進んで地域開発における「地域開発」、「環境」、「人間の安全保障³」、「防災管理計画」をその主要テーマとするに至っています。

<世界における開発援助の現状を知りましょう>

「人間開発報告書（Human Development Report）」

UNDP(国連開発計画)が毎年発行しています。1990年に初めて発刊され、その中で開発援助の目的を、1人でも多くの人が人間の尊厳にふさわしい生活ができるように手助けすることであると位置付けました。その上で**国の開発の度合いを測定する尺度として、1人当たりのGDP、平均寿命、就学率を基本要素として、これらを独自の数式に基づき「人間開発指数」として指数化したことに始まります。**以来、人間開発報告書は毎年異なるテーマの下に人間開発のあり方を問題提起し、国際社会の議論をリードしてきました。

↓以下のリンクからPDFでダウンロードできます。

http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/library/human_development/human_development1.html

SGHの本棚（職員室）にあります。見てみたい方は声をかけてください。

¹ 地域開発：人々が住んでいる地域をもっと住みやすくするために様々な事業を進めて、地域の生活を向上させ、ひいてはその国を超えて世界全体を発展させることに繋げようという考え。

² NGO：Non-Governmental Organization 日本語では「非政府組織」という。一般的には、開発、人権、環境、平和など、地球的規模の問題の解決に「非政府」「非営利」の立場から取り組む、市民主体の組織を「NGO」と呼んでいる。

³ 人間の安全保障：グローバル化が進む中、紛争や災害、環境破壊、飢餓などの脅威が多様化し、従来の国家中心の安全保障の方法では対応できなくなってきたことから生まれた概念。人間一人ひとりに焦点を合わせて個人の保護や能力強化などを通じて脅威に対処するという考え。

◆貧困とは何か

最貧国とは、開発途上国の中でも最も開発が遅れた国々という意味で、しばしば**後発開発途上国 (Least Developed Countries)** を指します。

これは、国連開発計画委員会 (CDP) が認定した基準に基づき、国連経済社会理事会の審議を経て、国連総会の決議により認定された途上国の中でも特に開発が遅れている国々のことです。

以下3つの基準を満たした国がLDCと認定されます。ただし、当該国の同意が前提となります。①一人あたり国民総所得 (GNI) (2008-2010年平均) : 992米ドル以下、②HAI (Human Assets Index) : 人的資源開発の程度を表すためにCDPが設定した指標で、栄養不足人口の割合、5歳以下乳幼児死亡率、中等教育就学率、成人識字率を指標化したもの。③農作物生産量の安定度などに基づくEVI (Economic Vulnerability Index) : 外的ショックからの経済的脆弱性を表すためにCDPが設定した指標。

◆貧困をはかる方法

「貧困」の定義はひとつではなく、国や機関によっても違います。もっとも一般的な定義に**世界銀行の「1日1.25ドル未満で暮らす人の比率」(国際貧困ライン)**があり、これは**ミレニアム開発目標の目標1「極度の貧困と飢餓の撲滅」**(目標設定当時の国際貧困ラインは、1日1ドル未満)にも用いられています。

また、貧困には、必要最低限の生活水準が満たされていない状態の「絶対的貧困」、これに対して、ある地域社会の大多数よりも貧しい状態の「相対的貧困」という見方もあります。

国連開発計画 (UNDP) では、貧困を「教育、仕事、食料、保健医療、飲料水、住居、エネルギーなど最も基本的な物・サービスを手に入れられない状態のこと」と定義し、**長寿で健康な生活 (出生時平均余命)、知識 (成人識字率と初等・中等・高等教育の総就学率)、人間らしい生活 (1人当たりの国内総生産) の3つの分野から算出する「人間開発指数 (Human Development Index)」**という人間開発の達成度を図る指標を作りました。「人間開発指数」は、所得以外の要素を重視して貧困を測ることで、貧困撲滅への国際的な取り組みにも大きな影響を与えました。

「人間開発指数 (Human Development Index)」という人間開発の達成度を図る指標を作りました。「人間開発指数」は、所得以外の要素を重視して貧困を測ることで、貧困撲滅への国際的な取り組みにも大きな影響を与えました。

本当の貧困とは？

貧困とは経済的な豊かさだけでは測れません。

ミレニアム開発目標を参考にしてどんな視点があるのか考えてみましょう。

後開発途上国リスト

【アフリカ (34)】 アンゴラ、ベナン、ブルキナファソ、ブルンジ、中央アフリカ、チャド、コモロ、コンゴ民主共和国、ジブチ、赤道ギニア、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソマリア、南スーダン、スーダン、トーゴ、ウガンダ、タンザニア、ザンビア

【アジア (9)】 アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ネパール、イエメン、東ティモール

【大洋州 (5)】 キリバス、サモア、ソロモン諸島、ツバル、バヌアツ

【中南米 (1)】 ハイチ

※平成24年12月現在 外務省HPより

ミレニアム開発目標 (MDGs)

目標と主なターゲット



目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅

- 1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる
- 飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる



目標5: 妊産婦の健康の改善

- 妊産婦の死亡率を4分の1に削減する



目標2: 初等教育の完全普及の達成

- すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする



目標6: HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止

- HIV/AIDSの蔓延を阻止し、その後減少させる



目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上

- すべての教育レベルにおける男女格差を解消する



目標7: 環境の持続可能性確保

- 安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる



目標4: 乳幼児死亡率の削減

- 5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する



目標8: 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

- 民間部門と協力し、情報・通信分野の新技术による利益が得られるようにする

＊ロゴは「特定非営利活動法人ほっとけい 世界のまじさ」が作成したものです。